

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名： アフガニスタン

日付：2026 年 6 月 30 日

報告書名：令和 7 年度 完了報告書（JPF）

令和 7 年度 JPF 完了報告書

事業名	クナール県における食糧・生活必需品の配布事業 Distribution of Food and Daily Necessities in Kunar Province
事業対象地	アフガニスタン クナール県
事業期間	2025 年 10 月 6 日～2025 年 12 月 6 日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	50,000,000 円
実施内容概要	2025 年 8 月 31 日深夜、アフガニスタン東部を震源とする地震が発生し、死者 2,205 人、負傷者 3,640 人にのぼる甚大な被害が生じた。建物の 98%が全壊または一部損壊し、事業地であるヌルガル郡に被害が集中した。シェルターや食糧、衛生・生活物資が不足しているが、国連や他の人道機関による支援は十分ではなく、被災者は緊急支援を必要としていた。本事業では、被災地域の約 1,000 世帯に対し、食糧、生活必需品および女性向けの尊厳キットを配布し、逼迫するニーズへの対応と生活環境の改善に貢献した。
成果の達成度	事業終了後に実施したモニタリング調査において、計画人数を上回る対象者から「十分な食糧が確保できた」「衛生起因疾患の罹患リスクが低減した」との回答が得られた。これは、提供した食糧パッケージや選定した生活必需品、ならびに女性と少女に配布した尊厳キットがニーズに適切に合致し、実用性の高いものであったことを示している。以上の結果から、本事業は計画を上回る成果を達成したと判断される。
学びと提言	災害後の状況下において、食糧や生活必需品の提供は、被災者の基本的ニーズを満たし、生活状況の安定化に効果的な支援であることが確認された。 また、地域社会との連携を図ることで、事業の透明性が向上し、円滑な支援活動の実施につながった。 さらに、ジェンダーに配慮した尊厳キットの配布は、被災下において特に脆弱な立場に置かれる女性や少女のニーズに適切に対応するものであった。 一方、支援物資配布後のモニタリング調査によりプロジェクトの成功が確認されたものの、特に避難所と防寒対策に関する機能的な課題が明らかとなった。これは、今後の介入策の指針となる。